

農業・農村地域での留学生・大学生のサポートにかかる取組について

- 2025年大阪・関西万博の開催により外国人旅行者が多数来日するが、インバウンドの現状は、都市部や一部の観光地に集中しているのが実態。
- 一方で、農村地域には、**すばらしい景観、様々な農業体験や食文化、それらを体験しながら滞在できる農泊の取組など、魅力的なコンテンツが多く存在。**
- これらの取組を実践している地域へ外国人旅行者の誘客を進め、**観光による経済効果を地域活性化に生かす必要。**
- しかし、新たに取組もうとする農村地域では、**多言語対応や情報発信、受入れ体制、キャッシュレス等**に課題がある。
- これらの課題解決のために**留学生や外国語を学ぶ大学生等の強力なサポートを得て、インバウンド受入れの契機**としたい。

農業・農村地域のお困りごと

- ✓ インバウンドを呼び込みたいけど対応に不安・・・
- ✓ 関係人口を増やして地域を活性化したい



留学生・大学生への期待

- ✓ ネイティブの強み、高い語学力の発揮
- ✓ 行動力と発信力



学生にもメリット

- ・ 留学生は日本の風景、暮らしを体験
- ・ 語学を学ぶ日本人学生は、スキルアップ
- ・ 人との交流による学び
- ・ 身近に感じる第二の故郷

農業体験事業者等の需要の把握

留学生・大学生と農業体験事業者等とのマッチング

農業体験現場での実践

【8月～12月】

- ・取組を試行し、課題を把握。
- ・農業体験事業者等が連携を望む具体的な内容を把握。

【1月～3月】

- ・農業体験事業者等の要望をリストにして大学等に提供。
- ・農業体験事業者等の需要に応じたマッチングを実施。

【4月～】

マッチング成立後、地域との連携により留学生等のサポート活動を開始。

